

中期目標	H28市評価	H29法人自己評価	法人見込評価	法人評価理由	該当頁数	H28市評価(再掲)	H29市評価	評価委員会意見欄	静岡市見込評価
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置									
1 地域医療を支える要としての静岡病院									
(1) 広大な市域を支える要としての活動	3	3	3	・「静岡市民『からだ』の学校」を開催（H28、H29 都市部2回、山間部3回） ・学生向けの医療体験セミナーを開催（H28、H29 高校生1回、中学生2回） ・市内の中学校で当院の医師が授業を行う「がん教育」を実施（H29新規）	1	3	3		
(2) 救急医療	3	3	3	・救急搬送患者数の受け入れ実績は市内公的病院の中で最も多い H28実績5,894人 H29実績6,161人	3	3	3		
(3) 高度医療	4	4	4	・ハートセンターによる最先端の心疾患の治療を提供 ・PET/CTの導入及び安定的な稼働（H29.4～） ・緩和ケア内科の新設（H28.12～）、予防医学としてのがん検診（子宮頸がん）の充実（H29.4～） 主にこれらの取組について、計画を上回って実施したため「4」とした。	5	4	4		
(4) 政策医療	3	3	3	・第一種感染症指定医療機関として受け入れ体制を維持 ・地域の周産期医療体制の維持に貢献（分娩件数 H28実績311件、H29実績261件） ・生活習慣病予防として管理栄養士による食事指導などを実施	8	3	3		
(5) 災害時医療	4	3	3	・災害を想定した総合防災訓練の実施、備蓄食料等の補充 ・マニュアルの見直し（H29.10）及びBCPの策定（H30.1） ・当院DMATが被災地で医療救護活動を実施（H28.4） 目標期間全体を通じた取組みにより、計画どおりの実績が見込まれるため、「3」とした。	11	4	3		
2 医療の質の向上と人材の確保									
(1) 総合的な診療とチーム医療の実施	3	3	3	・ハートセンターなど、複数の診療科による質の高い医療を提供 ・多職種による専門性を生かした各チーム医療（緩和ケアチーム、呼吸サポートチームなど）を実施	13	3	3		
(2) 先進医療機器や設備の整備	3	3	3	・先進医療機器としてPET/CT（H29.4～）、アンギオグラフィー（H30）などを導入（予定） ・医療機器の整備更新（人工心肺装置、外科手術用顕微鏡システムなど） ・施設整備（手術室へパフィルター交換など）	15	3	3		
(3) 医療職の確保、知識の取得、技術の向上	4	3	3	・7対1看護配置体制を計画より前倒し（H29.4～→H28.8～）で実施 ・多様な勤務形態の採用（正規短時間勤務制度） ・看護学生の受け入れ、認定看護師の養成 目標期間全体を通じた取組みにより、計画どおりの実績が見込まれるため、「3」とした。	16	4	3		
(4) 臨床研修医の育成	4	4	4	・研修支援プログラムの充実及びシミュレーションラボの活用 ・臨床研修医マッチング率は100%、募集定員を遥かに上回る申込人数 H28 募集定員13人（申込40人）、マッチング率100% H29 募集定員13人（申込30人）、マッチング率100% 主にこれらの取組について、計画を上回って実施したため「4」とした。	18	4	4		
(5) 調査・研究、治験の実施	3	3	3	・臨床研究及び治験の推進に向けて「治験審査委員会」、「医療倫理審査委員会」を開催	20	3	3		
3 医療の安全性と信頼性の向上									
(1) 十分な情報提供と適切な取扱い	3	3	3	・インフォームドコンセントの徹底、セカンドオピニオン外来の実施 ・患者の会と医師との交流会を実施 ・個人情報保護委員会でのマニュアルの検討	21	3	3		
(2) 医療安全管理等の徹底	3	3	3	・医療安全管理委員会の開催及び研修会の実施 ・感染管理システムの導入	24	3	3		
(3) 市民への積極的な広報	3	3	3	・病院ウェブサイトの全面リニューアルを実施（スマートフォン対応、メンテナンス向上）	25	3	3		
4 利用しやすく快適な病院づくり									
(1) 患者第一の病院づくり	3	3	3	・患者の権利等について、基本理念及び基本方針の復唱、院内掲示及び全職員への名札への表示	26	3	3		
(2) 患者ニーズに応じた医療・病院環境の提供	3	2	3	・会計待ち時間の短縮化 ・院内33箇所にメンテナンスフリー切り花を設置 ・全職員（パート及び委託業者含む）への接遇研修の実施 ・患者意見に対する検討会議の定期的開催 主にこれらの取組みを実施し、平成30年度の成果指標の目標値をクリアする見込みであるため「3」とした。	27	3	2		

中期目標	H28市評価	H29法人自己評価	法人見込評価	法人評価理由	該当頁数	H28市評価(再掲)	H29市評価	評価委員会意見欄	静岡市見込評価
5 市及び医療関係機関との連携、国内外医療関係機関との交流									
(1)市立病院としての市との連携	3	3	3	・市が策定した目標に基づき、法人が中期計画を策定し業務を遂行 ・業務実績について評価委員会の評価を受け、その内容を院内会議等で周知	29	3	3		
(2)医療・保健・福祉・介護関係機関との連携	4	4	4	・オープンシステムなど地域の医療機関と顔の見える連携を実施 目標 紹介率60%、逆紹介率80%以上 H28 紹介率74.4% 逆紹介率107.1% H29 紹介率76.5% 逆紹介率103.5% 成果指標の目標値を大幅に上回る結果となったため、「4」とした。	30	4	4		
(3)国内外医療関係機関との交流	3	3	3	・全国自治体病院学会、全国地方独立行政法人病院協議会などへ参加	32	3	3		
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置									
1 働きやすい職場環境と職員のやりがいづくり									
(1)働きやすい職場環境の整備	3	4	3	・医師の長時間労働を改善するため「変形労働時間制」を実施 ・全職員対象にストレスチェックを実施 ・ハラスメント防止研修、暴力暴言等対策研修を実施 目標期間全体を通じた取り組みにより、計画どおりの実績が見込まれるため、「3」とした。	34	3	4		
(2)職員のやりがいと満足度の向上	3	3	3	・資格取得に必要な費用を法人が負担する対象に認定看護師を追加 ・多職種合同研修、クオリティマネジメント報告会などを実施 ・人事評価制度について検討を開始	36	3	3		
2 業務運営体制の構築									
(1)医療環境の変化に迅速・柔軟に対応できる体制の構築	3	3	3	・経営課、総合相談センター、がん相談支援センターなどを新設し、組織を弾力的に改組	37	3	3		
(2)市民との連携・協働による病院運営の実施	3	3	3	・ボランティアによる患者の誘導及び移送 ボランティア活動延べ人数（H28実績517人、H29実績515人） ・学生による「院内コンサート」、「フラワーアレンジメント」の実施	38	3	3		
(3)外部評価等の活用	3	3	3	・日本医療機能評価機構の認定更新（H30年度予定） ・監事による監査の実施 ・提案箱の意見について毎月会議を開催	40	3	3		
(4)事務部門の強化	3	3	3	・他の医療機関経験者などの専門性の高い職員を法人職員として採用 ・成果指標の「派遣職員から法人職員への切り替え率」は目標（H29目標値50%）をクリア	41	3	3		
(5)法令の遵守等	3	3	3	・定款及び各規程など、院内ネットワークへの掲示により職員へ周知 ・法改正などに伴う各規程の制定及び改定について理事会で審議	43	3	3		
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置									
1 健全経営の維持									
(1)安定的な経営の維持	4	2	3	・法人移行後の収支は、H28実績は約4億5千万の黒字、H29実績は約2億の赤字 ・H30年度診療報酬改定に対応した「経営改善プロジェクト」による収入確保策及び費用節減策の実践 主にこれらの取り組みを実施し、平成30年度の成果指標の目標値をクリアする見込みであるため「3」とした。	44	4	2		
(2)収入の確保、費用の節減	4	3	3	・診療報酬上の加算となる施設基準の取得「7対1看護配置」など ・医療コンサルによる材料費の値引き交渉の強化 目標期間全体を通じた取り組みにより、計画どおりの実績が見込まれるため、「3」とした。	46	4	3		
(3)計画的な投資の実施	3	3	3	・各診療科の整備計画を参考に医療機器を更新 ・西館を中心に必要な修繕を実施	49	3	3		
第4 その他業務運営に関する重要事項に係る目標を達成するためとるべき措置									
1 地球環境に配慮した病院運営	3	4	3	・環境負荷の少ないLED照明への順次取替え、照明の消灯及び間引きを実施 ・リサイクルの推進 目標期間全体を通じた取り組みにより、計画どおりの実績が見込まれるため、「3」とした。	50	3	3		